

2025 年度
第 55 回 福祉住環境コーディネーター
検定試験[®]

1 級・後半
(記述式)

【制限時間 90分】

※営利目的での利用は禁止します

第1問

地域における高齢者や障害者の住まい、また障害福祉サービスの施策や取り組みに関連する以下の設問に答えよ。

設問（1）

下記のAさんの事例に関する以下の設問に答えよ。

【Aさん】 58歳・男性。B県C市の2階建てのアパートの1階に居住。

脳血管疾患の後遺症により右片麻痺あり。屋外ではT字杖を使用して歩行、屋内では家具などにつかまりながら歩行。近隣への通院や買い物については一人で外出している。助言があれば日常生活は概ね可能であり、他県に住む姉から助言を得て独居している。

居住しているアパートが、建物の老朽化により安全性の確保が難しいことから、取り壊されることになった。取り壊し後は駐車場とするため、家主より、12か月後の来年12月末までに退去するように求められた。住み慣れた地域での生活の継続を希望しているAさんは、近隣の民間賃貸住宅を探したいと考えている。

設問（1）－1

Aさんが新たに居住する民間賃貸住宅を確保するうえで課題と考えられることを2つ、解答欄に記述せよ。

課題①

課題②

設問（1）－2

Aさんは、市役所から紹介されて障害者総合支援法の地域生活支援援助事業による住宅入居等支援事業（居住サポート事業）を利用することになった。当事業においては、利用者への支援だけでなく、家主への相談・助言も行っていることについて、その背景・理由を解答欄に150字～200字程度で記述せよ。

※営利目的での利用は禁止します

設問（２）

2021（令和３）年度障害福祉サービス等報酬改定において、障害福祉サービスにおける感染症や災害への対応力強化が図られ、感染症や災害が発生した場合でも、必要な障害福祉サービスが継続的に提供できる体制を構築する観点から、すべての障害福祉サービス等事業者を対象に、運営基準において、業務継続に向けた計画等（BCP）の策定や研修の実施、訓練の実施等が義務づけられた。

そのなかで、非常災害対策が求められる通所系、施設系、居住系サービス事業者を対象に、運営基準において、訓練の実施にあたって地域住民の参加が得られるよう連携に努めることが求められているのはなぜか、解答欄に50字程度で記述せよ。

設問（３）

2021（令和３）年度に、医療的ケアを必要とする児童への支援を充実させるため、障害福祉サービス等の報酬体系が見直されるとともに、同年の６月には医療的ケア児支援法が成立し、９月に施行された。医療的ケア児とその家族を支援するための体制に関する以下の設問に答えよ。

設問（３）－１

Dさん（３歳、女児）は生まれたときから医療的ケアを必要とする状態で、父・母との３人家族であり、家族と共に地域で暮らしている。Dさん家族は、医療的ケア児支援センターから紹介され、センターが主催する医療的ケア児家族ピアサポート交流会に参加することにした。ピアサポート交流会において実施されるピアサポート活動とはどのようなものか、解答欄に記述せよ。

設問（３）－２

Dさん家族がピアサポート活動への参加を通して得られる、生活面における心理的・社会的な効果を解答欄に記述せよ。

※営利目的での利用は禁止します

第2問

次の事例を踏まえ、右欄の設問に答えよ。

<事例>

田中さん夫婦（ともに78歳）は、E市をとある私鉄沿線駅前にある「さくら商店街」（1975年結成）で個人の電気店「田中でんき」を営んで今年で50年になる。店舗は駅から最も近く、商店街の入口にある。1階は店舗、夫婦は2階に居住している（<図1>参照）。

「田中でんき」は電気製品の販売・アフターサービスのほか、個人宅への出張、蛍光灯の交換、修理などを行う「まちの便利屋さん」的な存在である。夫婦の人柄もあり、店先に近所の人たちが立ち寄っていく交流の場になっていた。

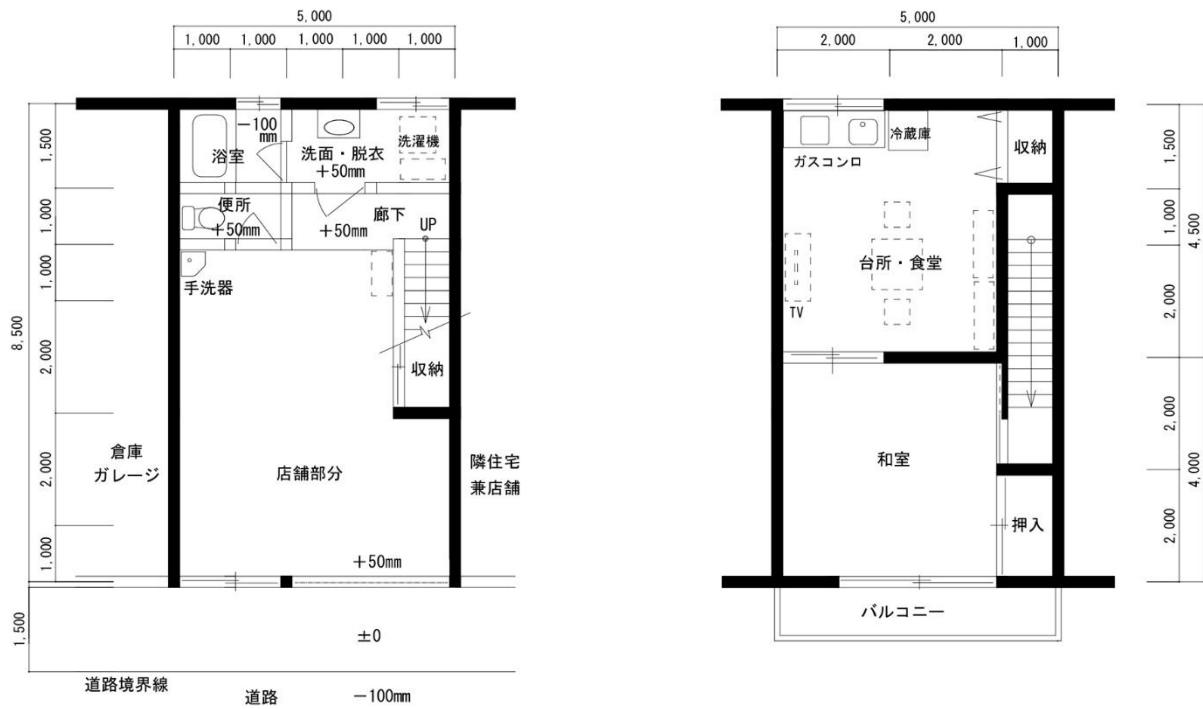
2年ほど前から妻にちょっとしたものの忘れが見られるようになった。地域包括支援センターを通して紹介してもらった医師からはMCI（軽度認知障害）と診断された。同じ時期に、田中さん自身もひざの痛みや体力の衰えを感じ始めたことから、80歳をめどに電気店を閉店することを決めた。それまでは妻も一緒に、従来のサービスを縮小しながら営業を継続しようと考えている。

「さくら商店街」全体も店主が高齢化し、店舗の入れ替わりが進み、既に閉店した店舗も出始めている。

こうしたなか、妻を担当している地域包括支援センターの職員から、電気店閉店後、1階の店舗を地域包括支援センターが主催するオレンジカフェ（認知症カフェ）の拠点として開放してもらえないだろうか、という相談を受けた。

※営利目的での利用は禁止します

<図1> 1階(左)と2階(右)の平面図



※営利目的での利用は禁止します

設問（１）

ＭＣＩ（軽度認知障害）とは何か、解答欄に100字程度で説明せよ。

設問（２）

地域包括支援センターの職員が田中さんの店舗でのオレンジカフェの実施を提案した「ねらい」として考えられることを２点挙げ、解答欄に記述せよ。

ねらい①

ねらい②

設問（３）

＜図１＞の１階平面図を踏まえ、「田中でんき」で認知症カフェを実施する場合の留意点について、以下の設問に答えよ。

設問（３）－１

ソフト面（支援や運営面等）において留意すべき点を、解答欄に200字程度で記述せよ。

設問（３）－２

ハード面（建築面等）において留意すべき点を、具体的な数値を交え、解答欄に200字程度で記述せよ。

※営利目的での利用は禁止します

設問（４）

２階に居住している田中さん夫婦が現在の状態において安全に生活を継続するにあたっての、当面の（短期的な）課題と、その対策（気を付ける点等）を、それぞれ解答欄に100字程度で記述せよ。

①課題

②対策

設問（５）

１階と２階をつなぐ階段に固定型（いす式）階段昇降機を設置する場合、＜図１＞を踏まえ、確認すべき点について、解答欄に箇条書きで５つ記述せよ。

確認すべき点①（箇条書き）

確認すべき点②（箇条書き）

確認すべき点③（箇条書き）

確認すべき点④（箇条書き）

確認すべき点⑤（箇条書き）

※営利目的での利用は禁止します

設問（６）

数年後、田中さんの妻はADLが低下し、生活全般において車椅子を使用することになったが、夫婦は住み慣れた自宅（寝室等を１階に移動）で生活することを望んでいる。この状況を踏まえて以下の設問に答えよ。（オレンジカフェは閉鎖するものとする。）

設問（６）－１

田中さんの妻が生活全般において車椅子を使用するようになった場合のソフト面における課題と対策を、解答欄に150字程度で記述せよ。

設問（６）－２

田中さんの妻が生活全般において車椅子を使用するようになった場合のハード面における課題と対策を、解答欄に150字程度で記述せよ。

第3問

次の事例を踏まえ、以下の設問に答えよ。

なお、設問（１）は解答用紙へ、設問（２）は画面上の解答欄へそれぞれ解答すること。

<事例>

人口15万人のF市は、築40年の公民館（延べ床面積約1,000㎡）における1階トイレの改修工事を計画している。

この公民館は当事者団体の利用も多く、多様な利用者にとって安心・快適に使えるトイレ環境の整備が求められている。

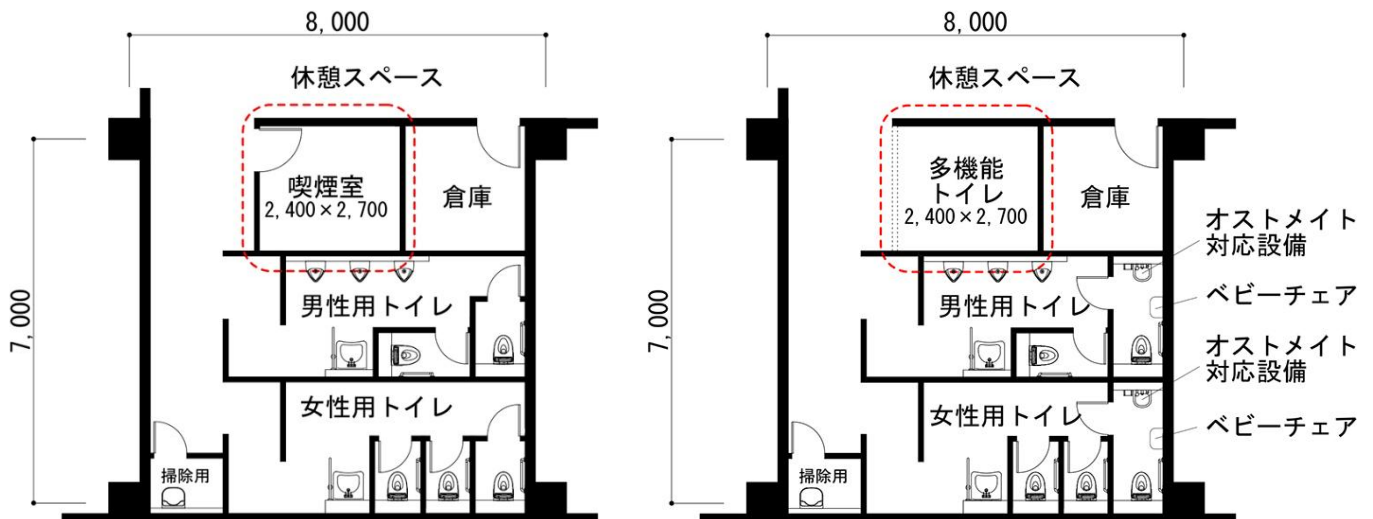
現在、館内には使用されていない閉鎖中の喫煙室があり、今回の改修ではこのスペースを活用して新たに多機能トイレを整備することが検討されている。

今回の改修にあたり、公民館を日常的に利用している7つの当事者団体にヒアリングを実施し、それぞれの立場からトイレ空間に関する意見・要望を収集した。

■ヒアリングを実施した7つの当事者団体の立場

- | | | | |
|-----------|----------|----------|----------|
| (a) 肢体不自由 | (b) 視覚障害 | (c) 聴覚障害 | (d) 内部障害 |
| (e) 発達障害 | (f) 認知症 | (g) 子育て | |

<図2> 改修前（左）と改修案（右）の平面図



※営利目的での利用は禁止します

設問（１）

改修前と改修案の平面図＜図２＞を踏まえ、７つの当事者団体から収集した意見・要望を整理した下記の【必須条件】をすべて満たす多機能トイレの計画案を作成し、解答用紙に記載せよ。

なお、多機能トイレに利用者が集中しないように、求められる設備や機能は一般用トイレにも分散して配置することが必要であり、改修案の一般用トイレ（男性用・女性用）には、各団体からの意見・要望の一部がすでに反映されている。

※【必須条件】に該当しない計画内容は、採点の対象外とする。

※ 計画案の作成にあたっては、下記の【作図上、留意すること】を踏まえること。

【必須条件】

- ① 車椅子使用者が出入りしやすい出入口を設けること。
- ② 大便器を配置し、両側に手すりを設けること。
- ③ 大型ベッド（折り畳み可）を配置すること。また、使用時の状況を図示すること。
- ④ 車椅子に対応した洗面台を設けること。

【作図上、留意すること】

* 車椅子使用者の転回スペース（直径150cm）の円を書くこと。

※ 転回スペースは大型ベッドに干渉してもよい（ベッドの下部スペースに車椅子のフットサポートが入ることや、折り畳み時に車椅子を転回することもできるため）。

* 便器、洗面台の後方にはライニング（配管収納）を設けること（奥行き200mm以上）。

* 「大便器」、「大型ベッド」、「洗面台」、「ライニング」の名称を記入すること。

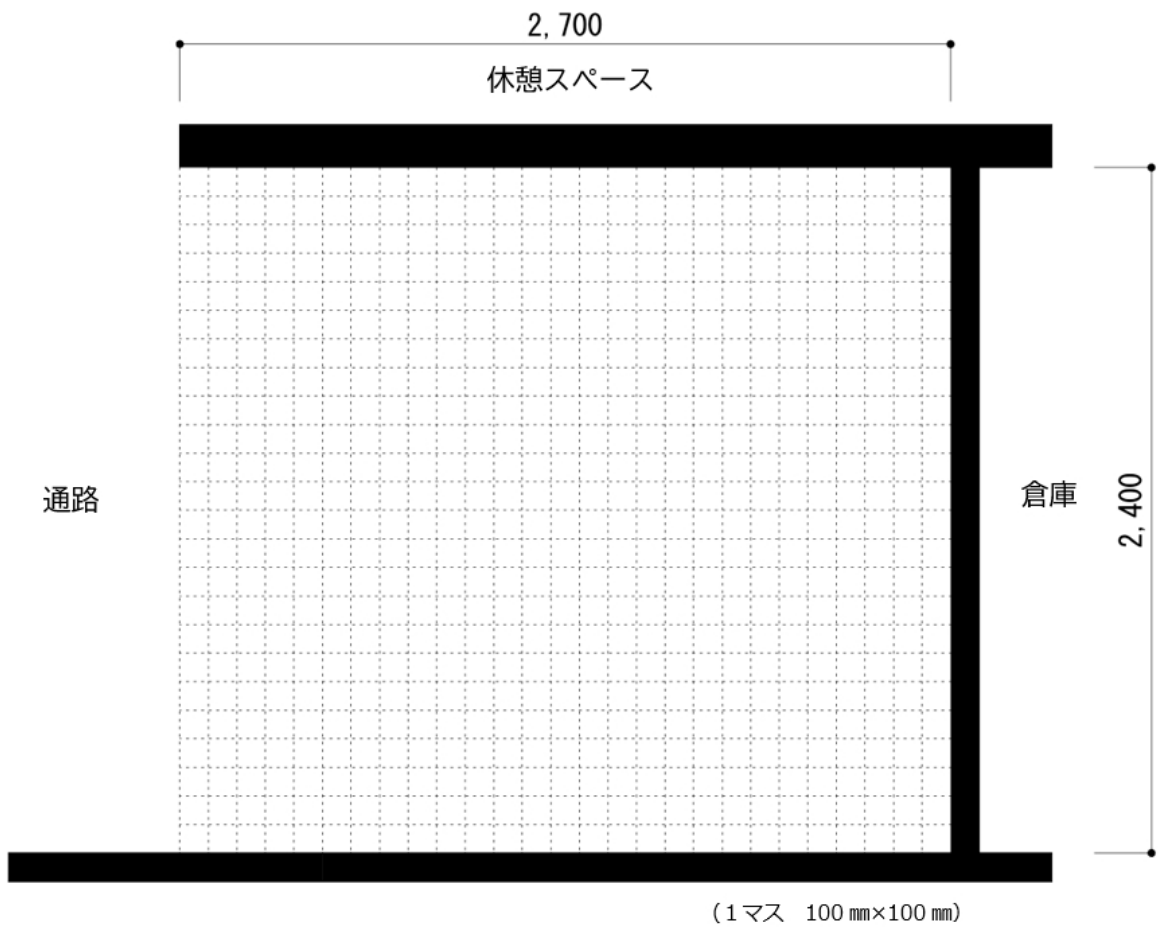
* その他の設備機器等についても必要に応じて名称を記入してもよい（例：L型手すり、引き戸等）。

* 寸法線および数値の記入は不要である。

* 解答用紙のグリッドは1コマ100mm×100mmである。

※営利目的での利用は禁止します

《 解答用紙 》



※営利目的での利用は禁止します

設問（２）

設問（１）の【必須条件】のほかに、当事者団体（下記(a)～(g)）それぞれの立場からの意見・要望に配慮しうる対応策について、以下の設問に答えよ。

なお、対応策の具体的な内容は、作図では表現しえないものを含んでもよい。

■ヒアリングを実施した7つの当事者団体の立場（再掲）

- | | | | |
|-----------|----------|----------|----------|
| (a) 肢体不自由 | (b) 視覚障害 | (c) 聴覚障害 | (d) 内部障害 |
| (e) 発達障害 | (f) 認知症 | (g) 子育て | |

設問（２）－１

「ヒアリングを実施した7つの当事者団体の立場」(a)～(g)のうち、どの立場からの意見・要望に対しての対応策を解答するか、1つ選びなさい。

- ☐ (a) 肢体不自由
- ☐ (b) 視覚障害
- ☐ (c) 聴覚障害
- ☐ (d) 内部障害
- ☐ (e) 発達障害
- ☐ (f) 認知症
- ☐ (g) 子育て

設問（２）－２

設問（２）－１で選んだ立場からの意見・要望に配慮しうる対応策の具体的な内容を記述せよ。